

定例市議会 議案の質疑

(年間、値上げ分総額) 3330万円 議員報酬引き上げやめよ

定例市議会は13日、市長提案、及び議員提案の議案質疑が行われました。日本共産党市議団(小菅・野並市議)は、暮らしと民主主義・平和を守る市政の実現へがんばりました。以下、その概要をお知らせします。

いま野洲市政に大事なことは
市民を守る予算にまわす



戦争協力条例やめよ
報酬引き上げより、
市民の暮らしを

野並享子
市議

「国民保護法」に基づく市条例制定、一般会計予算や墓地公園特別会計、また、豊政会やネットワーク野洲から議員定数削減の条例案が出されましたが、市民の声を市政に届け、暮らしを守る立場から質問をしました。

今回の定数削減案(「豊政会」は20名、「ネットワーク野洲」は18名)は、今議会で議員報酬の引き上げが提案(一ヵ月9万円アップ)されていますが、その増額分だけ定数を減らそうというものです。つまり、「行財政改革の模範を示す」としています。

しかし、本来、議員の役割は、市民の声を市政に届けること、市政をチェックすることです。定数の削減は、その役割を否定し、民主主義を否定するものです。

「行革の模範を示す」というなら、市民の生活実態や感覚とはかけ離れた大幅な報酬引き上げ(年間24名で総額3330万円)をやめ、議員自身が市民の期待に応える議員活動を行うことこそ必要ではないでしょうか。



介護保険料の減免を
国保証取り上げやめよ

小菅六雄
市議

介護保険条例や国保条例、同予算案などについて、保険料の減額免除の実施を質問しました。

介護保険では、65歳以上の保険料を2年連続で大幅値上げする議案が提案されています。これにより低所得者層の負担は一層強化されます。市独自の保険料設定を行うことや減額免除制度の実施などを求めました。

国保会計では、この数年間、野洲市では、国保税を払いたくても支払うのが大変な人=「滞納者」へ、「短期保険証」や「資格証明書」の発行を急増させています。安易な「国保税の取立てと短期保険証・資格証明書の発行」をやめるよう求めました。

これに対して、市の答弁全体に言えることは、全国で多くの自治体が市民の立場に立ち、介護保険料を低所得者層に減額措置をしたり、安易な国保・保険証の取り上げをしない中で、野洲市の場合は、国の医療・福祉制度改悪言いなりで、市民に冷たいものでした。市の予算は、市民の暮らし優先に編成すべきです。

中主幼稚園 預かり保育

保育士削減やめ、子どもの視点に立った保育を

中主幼稚園の「預かり保育」専任保育士を削減し、「日替わり」で教師が保育することを市が3月議会に提案していますが、父母の不安と批判が高まっています。

教育委員会は市議会で、専任保育士の削減について、「正職員で助け合いながら対応していく」「保護者に安心してもらえるよう説明をする」「何とか、この難局の打開を」と発言しました。しかし現場の保育士や保護者の声も聞かず、4人の専任保育士を削減し、この穴埋めに主任や嘱託保育士が入り、現在の保育士の労働強化が明らかになっています。

この問題は、19日付「やす民報」でお知らせしました

が、「あまりにもひどい」「子どものため保育士さんを、きちっと配置して」と切実な声が寄せられています。市議会でも、多くの議員が再考を求めています。

そもそも、保育園の「代替」としてスタートさせた「預かり保育」です。保育園保育を大きく後退させ、教師に負担を強化し、とりわけ、子どもの成長にとって大事な保育を後退させることは許されません。16日の本会議で、野並市議は「保育士の削減をやめ、何よりも子どもの立場に立ち、朝8時から夕方6時まで同じ保育士による保育園機能の体制で行うよう」強く求めました。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年3月19日 74

暮らしの相談、ご要望を
お気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971
野並享子 北野1丁目10 (電話)587-0985